

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第38週の発生動向

全数報告の感染症 (38週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症：報告なし。5 類感染症：水痘 (入院例) 1 例、破傷風 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	延岡	70歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	20歳代	男	—	腹痛、水様性下痢、血便、発熱 O26 (VT型不明)
5類	水痘 (入院例)	宮崎市	30歳代	女	検査診断例	発疹、他疾患入院中の発症 ワクチン接種歴：不明
	破傷風	宮崎市	70歳代	女	—	筋肉のこわばり、開口・嚥下・発語障害、痙攣等 ワクチン接種歴：不明

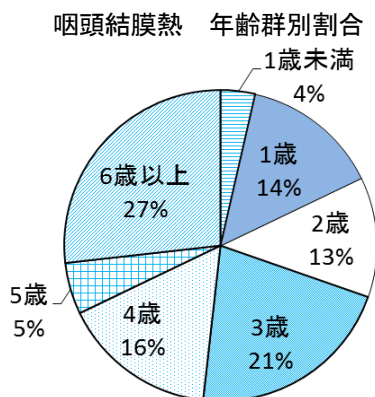
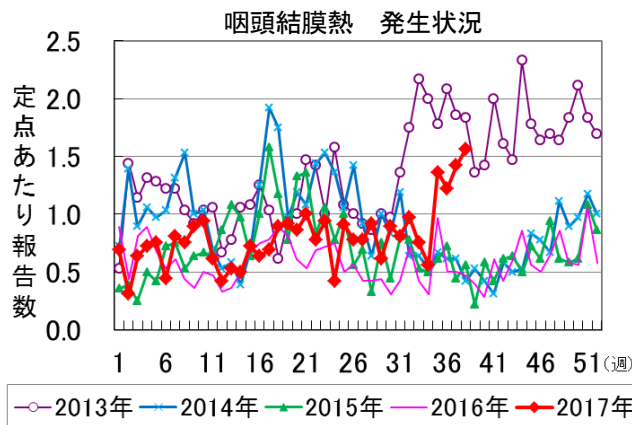
定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 622 人 (定点当たり 20.1) で、前週比 81% と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎とヘルパンギーナである。

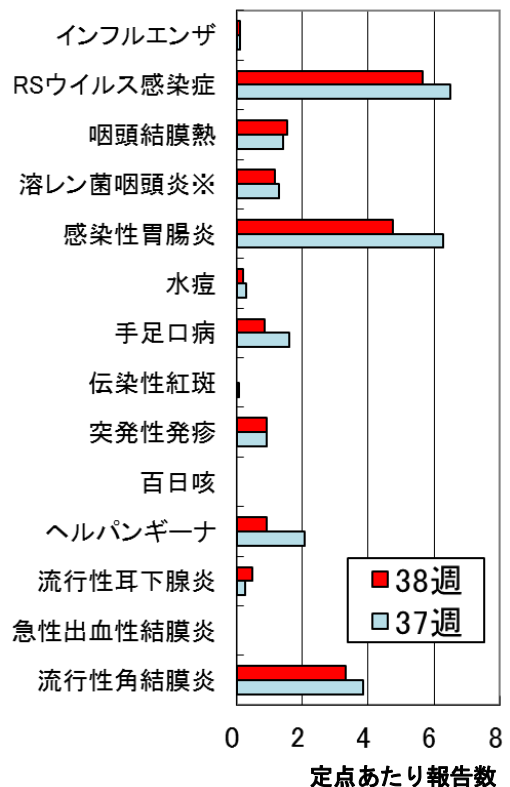
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【咽頭結膜熱】

報告数は 56 人 (1.6) で、前週比 110% と増加し、例年同時期の定点あたり平均値* (0.79) の約 2.0 倍である。小林 (8.0)、中央 (4.0)、都城 (3.5) 保健所からの報告が多く、年齢別は別グラフに示す。



《前週との比較》

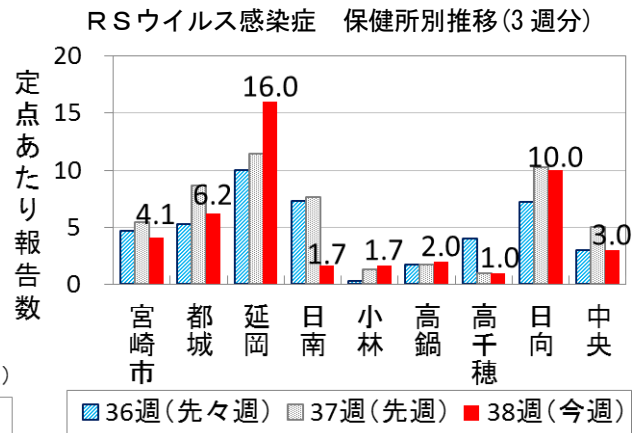
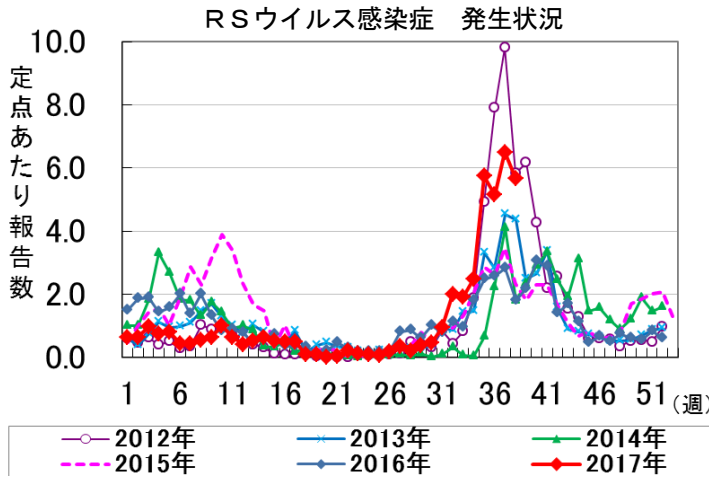


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【RSウイルス感染症】

報告数は204人(5.7)で、前週比87%と減少したが、例年同時期の定点あたり平均値*(3.7)の約1.5倍である。延岡(16.0)、日向(10.0)、都城(6.2)保健所からの報告が多く、年齢別は1~2歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市(1例)保健所から報告があり、10歳代であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	咽頭結膜熱(3.5)
延岡	なし
日南	流行性耳下腺炎(4.0)
小林	咽頭結膜熱(8.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	咽頭結膜熱(4.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

・咽頭結膜熱(3.0)

* 流行注意報レベル基準値*

・流行性耳下腺炎(3.0)

□病原体検出情報(衛生環境研究所微生物部 平成29年9月25日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Chromobacterium haemolyticum</i> suspect	60歳代	女	2017.08.21	-	皮膚(水疱) 血液	2017.09.12
<i>Salmonella</i> 属菌 血清群不明	10歳代	男	2017.08.27	発熱、下痢	便	2017.09.11
EPEC(OUT:HUT)	20歳代	女	2017.09.01	-	便	2017.09.14
EPEC(OUT:H51)	30歳代	女	2017.09.03	-	便	2017.09.15
EPEC(OUT:H40)	20歳代	男	2017.09.08	発熱(38.5°C)、水様性下痢、腹痛	便	2017.09.15
<i>Salmonella</i> Stanley (O4:d:1,2)	10歳代	女	2017.09.12	-	便	2017.09.21

○60代後半の女性の水疱と血液から、*Chromobacterium haemolyticum*疑いの菌が検出された。*Chromobacterium*属には7菌種が分類されているが、*Chromobacterium violaceum*以外は比較的新しく分類されたものが多く、生化学性状などは不明な点が多い。今回の菌株は、*C. violaceum*特有の色素産生がなく、血液寒天培地上で強いβ溶血を示し、オキシダーゼ陽性であった。今後、報告数が増えれば、より詳細な菌の性状なども明らかになるものと思われる。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
コクサッキーウイルスB1型	0～4歳	女	2017.08.11	髄膜炎、38.9℃、髄液細胞数増多	髄液	2017.09.15
水痘・带状疱疹ウイルス	30歳代	女	2017.09.19	水痘疑い、水痘、胃腸炎(下痢)	水疱内容液(皮膚病巣) 血漿	2017.09.25

○水痘疑いの成人の水疱内容液と血漿から、水痘・带状疱疹ウイルスが検出された。水痘は、約95%が10歳以下で感染し、15歳以上は1%以下と極端に感染率が低くなる。今回は成人から水痘・带状疱疹ウイルスが検出されており、成人期に初感染を受けた場合は小児期の初感染に比べ重症化しやすく、合併症として肺炎や中枢神経合併症などがある。水痘に合併する肺炎は通常ウイルス性であるが、まれに細菌性のこともある。また、中枢神経合併症としては無菌性髄膜炎や脳炎がある。

🇯🇵 全国 2017 年第 37 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 37 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	358 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	151 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	2 例	A型肝炎	2 例	つつが虫病	1 例
	デング熱	5 例	日本紅斑熱	21 例	マラリア	2 例
	ライム病	1 例	レジオネラ症	36 例	レプトスピラ症	2 例
5類感染症	アメーバ赤痢	14 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	27 例
	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例
	後天性免疫不全症候群	17 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性肺炎球菌感染症	18 例
	水痘 (入院例)	1 例	梅毒	79 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	風しん	2 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 99%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナである。

R S ウイルス感染症の報告数は 10,500 人(3.3)で前週比 104%とほぼ横ばいであるが、例年同時期の定点当たり平均値*(1.0)の約 3.3 倍である。徳島県(9.3)、熊本県、島根県(6.9)からの報告が多く、年齢別では 6 ヶ月～2 歳が全体の約 7 割を占めた。 * 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2017年 第38週(9月18日～9月24日)

疾病名		第37週	第38週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	7	7	2	1		1	3				
	定点あたり	0.12	0.12	0.13	0.10	0.00	0.20	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	234	204	41	37	64	5	5	8	1	40	3
	定点あたり	6.50	5.67	4.10	6.17	16.00	1.67	1.67	2.00	1.00	10.00	3.00
咽頭結膜熱	報告数	51	56	1	21		6	24				4
	定点あたり	1.42	1.56	0.10	3.50	0.00	2.00	8.00	0.00	0.00	0.00	4.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	47	42	34		3	3		2			
	定点あたり	1.31	1.17	3.40	0.00	0.75	1.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	226	171	38	33	5	18	22	21	3	22	9
	定点あたり	6.28	4.75	3.80	5.50	1.25	6.00	7.33	5.25	3.00	5.50	9.00
水痘	報告数	11	7	2					4		1	
	定点あたり	0.31	0.19	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	58	31	10	1	10			7		3	
	定点あたり	1.61	0.86	1.00	0.17	2.50	0.00	0.00	1.75	0.00	0.75	0.00
伝染性紅斑	報告数	3										
	定点あたり	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	33	33	10	2	7	3	4	3		4	
	定点あたり	0.92	0.92	1.00	0.33	1.75	1.00	1.33	0.75	0.00	1.00	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	75	33	9	2	8	1	3	1	4	5	
	定点あたり	2.08	0.92	0.90	0.33	2.00	0.33	1.00	0.25	4.00	1.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	9	17	2			12				3	
	定点あたり	0.25	0.47	0.20	0.00	0.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	23	20	7	10	3						
	定点あたり	3.83	3.33	2.33	5.00	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～38週)

2類感染症	結核	136例(1)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	14例(1)				
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	12例	つつが虫病	6例
	日本紅斑熱	6例	レジオネラ症	8例	レプトスピラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8例
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例
	後天性免疫不全症候群	7例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	13例
	水痘(入院例)	2例(1)	梅毒	10例	破傷風	5例(1)
	麻しん	1例				

()内は今週届出分、再掲